

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成17年8月30日(火) 発行No.460

広報きたうら

茨城県行方郡北浦町

北浦町閉町記念式典



北浦町のあゆみ ~写真と年表で振り返る p2

最終号

式典
合併
給食
スポーツ
年金
広報

はつらつ保健だより・新着図書
みんなの広場

北浦町閉町記念式典 p8

9月2日『行方市』が誕生します p10

本場のカレーを作ったよ！(親子で楽しむインド料理教室) p14

ペタンク大会/混合バレーボール大会/子ども会球技大会 p16

国民年金からのお知らせ【シリーズ3】 p17

広報きたうらの歴史 p20

身近な食中毒 p22

北浦俳句会/きたうら文芸/こんな行方市になってほしい！ p23

The history of Kitaura town

北浦町のあゆみ



婦人会研究親睦会(昭和33年)



県営「鹿行丸」就航(昭和41年)



津澄中学校での農業祭(昭和32年)



中学校分校対抗駅伝大会(昭和34年)



北浦中学校造成工事(昭和34年)



北浦幼稚園開園式(昭和50年)



第2次農集電話開通(昭和42年)



写真とともにこの50年の歴史を振り返ってみましょう。

昭和30年、津澄村、要村、武田村の3つの村が合併して誕生した北浦町。時を経て、平成9年には町制施行し北浦町に。そして平成17年、北浦50周年という節目の年、北浦町は麻生町、玉造町とともに「行方市」に生まれ変わります。

半世紀という長い歴史のなかには、さまざまな出来事がありました。学校の統廃合や新設、鹿行大橋、県道バイパスの開通…。忘れたいあの日、心に残る懐かしいふるさとの情景…。

北浦村から半世紀。

さらなる発展を目指して「行方市」へ

平成17年、北浦町は3村合併から50周年を迎えました。

町内には、ふれあいの郷、保健福祉センター、学校給食センター、北浦中学校新校舎が完成、みず菜が県の銘柄産地に指定されるなど農業の生産高も高まり、より充実した生活環境が整いました。

そして北浦町は、さらなる発展を目指し、麻生町、玉造町と合併することを決め、平成17年9月2日、「行方市」として新たにスタートします。



北浦町長 伊藤 孝一

昭和30年4月1日、津澄村・要村・武田村が合併し新しく北浦町が誕生しました。

その後村制の発展により平成9年10月1日、町制を施行し現在にいたっています。この間、先人たちの努力によって旧村時代からそれぞれ培われてきた歴史と伝統、文化をあわせ、50年間に及ぶ歴史を歩んできました。

我が北浦町は、水と緑の自然に恵まれた大地の好条件を背景に基幹産業である農業振興に傾注し、「北浦みつば」をはじめとして多種多様、多品目の生産、そしてみず菜の「銘柄指定」へと農家組織を確立、売上げ販路拡大へと「北浦」の名を全国に知らしめてきました。

また、住民の健康と豊かな生活をモットーに健康福祉センターの建設をはじめ、文化の拠点としてふれあいの郷や文化会館の建設等にいち早く取組んできたところです。

しかしながら、地方自治体を取り巻く環境は、三位一体の改革による地方交付税の削減、地方税の見直しなど厳しい状況にきています。

このような中、3町合併による新市「行方」へと9月2日、スタートを切ることになります。

今後とも伝統ある歴史、文化を後世に引き継ぐことが我々の使命であると考えられております。これまで、本町発展にご尽力いただきました諸先輩並びに町民の皆様方に御礼と感謝を申し上げますとともに、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

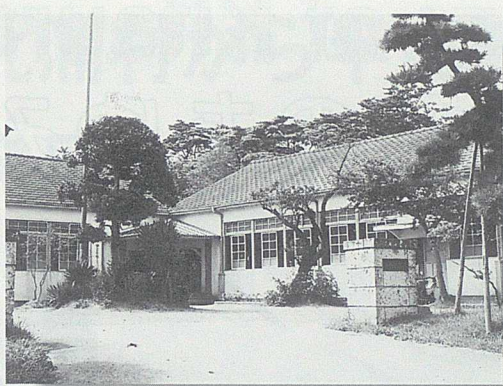
※文中、ご氏名の敬称は略させていただきます。

昭和30年(1955)

津澄村・要村・武田村が合併。北浦村誕生。村長職務執行者に辺田潤一、村議会議長に斉藤操就任。初代村長に真家裏之就任。

昭和31年(1956)

第1回村議会議員選挙。役場庁舎が山田に完成。



役場旧庁舎が完成(昭和31年)

昭和35年(1960)

新城小学校、旧武田中学校に移転。拠出制国民年金始まる。

昭和36年(1961)

要小学校校舎完成。新城小学校校舎完成。県道初の簡易舗装(繁昌・山田地内750m)。

昭和37年(1962)

北浦中学校に屋内体育館完成。

昭和38年(1963)

第2代村長に高柳庄次郎就任。村議会で繁昌・山田両小学校の統合建設を議決。

昭和39年(1964)

初の農業空中散布実施。農業改良普及所統合、麻生へ移転。合併10周年記念式典開催。鹿行大橋着工。

昭和40年(1965)

津澄小学校校舎完成。教職員住宅完成。母子健康センター完成。農集電話開通。

昭和41年(1966)

小貴小学校校舎完成。北浦中学校にプール完成。要小学校校舎完成。「北浦音頭」ができる。



北浦中学校プールが完成(昭和41年)

昭和42年(1967)

高柳村長2期目就任。国際電信電話(KDD)北浦受信所開局。第2次農集電話開通。県町村議会議長会長に出久根保就任。

昭和43年(1968)

北浦村外4町老人福祉センター開所。鹿行大橋開通。



鹿行大橋が完成(昭和43年)

昭和44年(1969)

議員定数削減、26名から22名へ。三和小学校校舎完成。老人休養ホームを老人福祉センターに併設。

昭和45年(1970)

給食センター完成。津澄小学校に屋内体育館完成。

昭和46年(1971)

第3代村長に勢司治雄就任。津澄・武田・要復興の3農協合併し、北浦村農協へ。北浦村公民館完成。

昭和47年(1972)

県道水戸・鉾田・佐原線のバイパス開通。

昭和48年(1973)

小貴幼稚園開園。商工会館完成。北浦農協本所完成。

昭和49年(1974)

初の芸術祭を開催。小貴小学校に屋内体育館完成。村民柔剣道場完成。

昭和50年(1975)

勢司村長2期目就任。合併20周年記念式典開催。小貴幼稚園廃止、北浦幼稚園開園。北浦土地改良区設立。

昭和51年(1976)

行方北部消防署(広域)が小幡地内に完成。

昭和52年(1977)

第4代村長に河野晴雲就任。北浦村外4町老人福祉センターと休養ホーム「北浦荘」を北浦村に経営移管。第1回村民運動会開催。

昭和53年(1978)

福祉法人北浦保育園開設。北浦村役場新庁舎完成。山田地区簡易水道給水開始。



新庁舎が完成(昭和53年)

昭和54年(1979)

繁昌地区(中根・吉川含む)簡易水道事業着工。

昭和55年(1980)

新城小学校を武田小学校と改称。

昭和56年(1981)

河野村長2期目就任。

昭和57年(1982)

繁昌地区簡易水道給水開始。

昭和58年(1983)

自給肥料供給センター完成。

昭和59年(1984)

議員定数削減、22名から20名へ。

昭和60年(1985)

第5代村長に磯山伸知就任。科学万博つくば'85「北浦村の日」。村民憲章、村の花・木・鳥を制定。



科学万博つくば'85(昭和60年)

昭和61年(1986)

農業委員定数削減、選挙による定数20人を16人へ。ふれあいの郷施設整備計画。

昭和62年(1987)

北浦中学校サッカー部、全国大会に出場。



全国大会に出場した北浦中イレブン(昭和62年)

昭和63年(1988)

南・北高岡地区の水道工事着工。

平成元年(1989)

磯山村長2期目就任。第1回北浦ふれあいフェスティバル開催。

平成2年(1990)

ふれあいの郷施設整備着工。

平成3年(1991)

都市計画区域を指定。独・ヴィルゲス市と交流始まる。

平成4年(1992)

残土条例制定。北浦複合団地構想。

平成5年(1993)

磯山村長3期目就任。中央公民館完成(ふれあいの郷)。

平成6年(1994)

ふれあいの郷完成。ヴィルゲス市・プファイル市長来村。北浦複合団地事業の協定書調印。

平成7年(1995)

霞ヶ浦聖苑完成(広域火葬場)。ふるさとステージIN北浦を開催。

平成8年(1996)

議員定数削減、20名から18名へ。行方地域中核病院整備協定。村道106号線開通(小幡・行方)。北浦村長期総合計画を策定。津澄小学校体育館完成。

平成9年(1997)

磯山村長4期目就任。保健福祉センター着工。町制施行。



さらなる飛躍へ向け町制を施行(平成9年)

平成10年(1998)

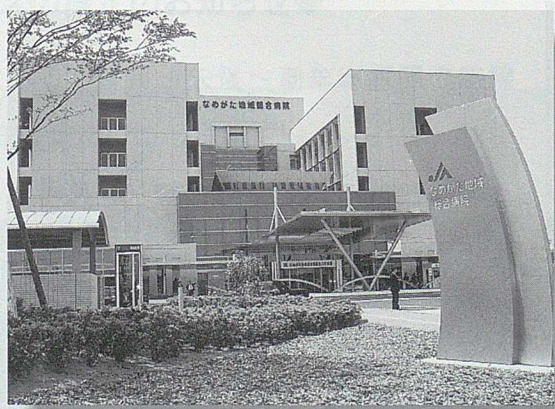
保健福祉センター完成。「北浦ふれあい音頭」ができる。

平成11年(1999)

新エネルギー導入ビジョン策定。特別養護老人ホームきたうら開業。小中学校へパソコン導入開始。

平成12年(2000)

都市計画マスタープラン策定。介護保険スタート。行方地方広域シルバー人材センター開設。なめがた地域総合病院開院。「期限内完納推進の町」宣言。



なめがた地域総合病院開院(平成12年)

平成13年(2001)

伊藤孝一町長就任。町道107号線完成。町史編さん事業開始。

平成14年(2002)

町道102号線完成。学校給食センター完成。北浦中学校(新校舎)建設開始。

平成15年(2003)

町全域水道普及。北浦荘新装。北浦中学校新校舎が完成。

— 高速バス麻生ルートが北浦町へ —

現在、高速バスは麻生町を起点に関東鉄道㈱、JRバス㈱の2社で東京駅まで運行しておりますが、関鉄グリーンバス㈱（本社 石岡市）に路線譲渡及び北浦町・鉾田町までの路線延伸を図ることを関東運輸局へ認可申請しております。

申請が認められれば、10月から運行の予定です。運行回数は、1日6往復運行し、東京駅までの所要時間は3時間弱です。

— 北浦町内の停留所(予定) —

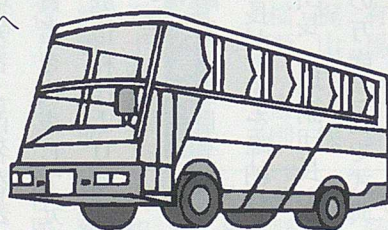
- ・小舟津（既存バス停利用）
- ・北浦庁舎入口
（新設→セブンイレブン北浦岡店付近での乗車となります）
- ・山田橋（既存バス停利用）
- ・繁昌坂上（既存バス停利用）

★停留所には数台分の駐車場を確保します。

★利用料金は2,000円程度になります。

★運行時間は未定です。

★問い合わせは関鉄グリーンバス株式会社へ
（☎ 0291 - 33 - 3181）



◆路線バスの廃止のお知らせ◆

関鉄バス㈱が運行している 繁昌～矢幡～潮来車庫間の路線バスが平成17年9月30日で廃止になります。

この間、貴重な交通手段であり、廃止後の代替手段の確保もままならないことから、存続を要望しましたが、利用状況や事業収支の悪化により、存続は困難になりました。

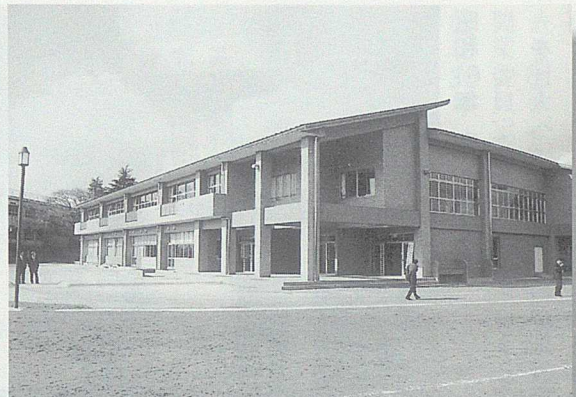
10月予定

高速バスが運行します

鉾田↓北浦↓麻生↓牛堀↓潮来↓佐原↓香取神宮↓東京駅



ふるさと記念碑建立(平成16年)



北浦中学校新校舎が完成(平成15年)

平成16年(2004)「行方郡合併協議会」設置。ふるさと記念碑建立。北浦町のみず菜が県の銘柄産地に指定される。伊藤町長2期目就任

○みず菜が県銘柄産地に
平成16年12月、北浦町のみず菜が県の銘柄産地指定を受け、全国産地に急成長しました。



○合併協定書に調印
平成17年2月、「行方市」9月2日誕生に向けて、3町長による合併協定書の調印をしました。夢と希望にあふれた新市に向けてスタート。

○要小学校どんと焼き
要小学校では、町の伝統を残そうと、PTAの協力により29年前に復活されたものです。



○北浦中学校旧校舎
平成16年に新校舎建設のため旧校舎が解体されました。昭和34年に完成してから、45年間の歴史にピリオド。たくさんさんの思い出をありがとう。

○風と緑の広場の風車
平成13年4月、山田川河口に水質浄化に役立てる風車施設が完成。地域住民の憩いの場になっています。



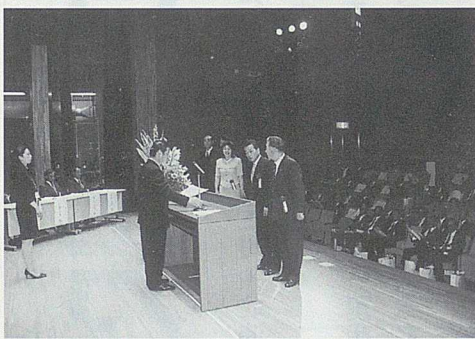
○北浦ふれあいまつり
町の飛躍と地域のふれあいを目的とし、町と商工会が開催。恒例となっている「模擬上棟式」では紅白もちなどが振る舞われ、賑わいました。

北浦町閉町記念式典

表彰状・感謝状を受けられた皆さん（敬称略・順不同）

●自治功労者

磯山 伸知・男庭 恒和	茂木 昭一・武田 司	方波見全弘・齋藤 照義	高橋三左男・横田 寧	齋藤 三義・柏原章次郎	原 延征・齋藤司乃夫	石橋 堅・原目 三郎	齋藤 四郎・齋藤 昭夫	伊勢山雅昭・小林 幹明	内田 泰山・関 和男	寺内 泰俊・松下 實	齋藤 正・高柳孫市郎	額賀 正夫・久保 順要	平山 光雄・阿須間庸夫	茂木 直・真家 謙弥	前川 弘・宮内 勲	藤咲 勝正・大久保 守	小沼傳六郎・河野三千男	原 瑞穂・出久根岩男	小澤 勝・滑川 一男	龜田 信也・倉川 光輝	五十野 司・勢司 惠一	松金 七郎・男庭 弘一	飯山 泰男・小林 政吉	栗原 勲・浜内 申次	鳥次 敬・宮本 喜好
-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	------------	-----------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------



佐藤 洋二・椎木 勝	高柳 三三・平山 隆吉	平山 孝子・伊原 實敬	柴田 正巳・宮内 治	椎名 功・東山 甲治	堀 正義・東山 哲	宮内 省三・有馬 正子	有馬 和子・堀 和枝	眞家 照夫・横瀬 芳夫	金田 幸男・吉田 勇	岡里 年貢・原田 保男	茂木 三郎・齋藤 勝利	齋藤スミ子・藤崎 昂久	河野 七郎・齋藤 俊雄	原田 陽雄・宮本 次男	石間 操・田谷 たい	大久保貞男・米持 幸一
------------	-------------	-------------	------------	------------	-----------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------

●叙勲功労者

横田 修平・稲田 稜禾	方波見和夫
-------------	-------

●治安・防災功労者

猪瀬 正男・高柳 制	水野 義貞・柏原久一郎	河野 章・有馬 七郎	宮河 一・梶山 保	齋藤 藤元・横瀬 喜則
------------	-------------	------------	-----------	-------------

●教育・文化功労者

阿須間俊夫・五十野和二	根本 公威・河野 浩明	高野 顯・石上 智健	河野 健・辺田 勝裕	柳町 清・男庭 源善	柏原 時雄・中根 繁	成田 幸男・横瀬 瑞江	岡部 弘・大貫 正秀	武田 吉正・原 幸一	白田 忠夫・岡里 雅子	額賀 照子・松下 裕	小沼 保夫・浅野美寿子	小沼 忠夫
-------------	-------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	------------	-------------	-------

●産業・経済功労者及び団体

掛田七五郎・久米 綱雄	下河邊古吉・宮本 浩三	石橋喜久雄・大堀 浩	堀 孝造・宮内 務	横瀬 昌市・原 義晴	石橋 英雄・関根 弥	齋藤 旦・清水 浩衛	高野 敬章・額賀 貞夫	高柳 清平・金山 榮伸	吉田 藤樹・堀 美津夫	大和田和男・栗又 孝夫	額賀 林榮・河野 眞	仲居 忠・岡里 雅夫	原 繁太郎・山崎 和秀	中村 恵一・岡野和多利	井川 浩一・土子英三郎
-------------	-------------	------------	-----------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------

●民生・福祉功労者

阿須間利政・高柳 千秋	宇津木 薫・大原 久明
-------------	-------------

●保健衛生功労者

東野サカエ・小沼 和夫	高橋 善一・勢司 誠喜	平野 次男・男庭 誠	成田 康雄・原 正巳	本戸 さつ・根本 和代	武田 一枝・森崎惠美子	成田ひとみ・辺田 つや	根本 一彦・石橋 辰夫	内田 平男・塚原 てる	齊藤 よし・眞家 優夫	新堀 旺・柏原 シノ	勢司 得雄・伊藤 正孝	酒井美智子・宮本 徳治	河野 啓樹・小島 正憲	久保 博光・内野 文雄	宮本 鶴壽・久米 松子	久米 義雄・鬼沢千代江	齋藤 隆夫・方波見廣一	松本 誠
-------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------

●感謝状

辺田 ヒデ・横瀬江くの	中根 輝義・成田 嘉一	米澤 榮・横瀬 喜久
-------------	-------------	------------



9月2日に新市「行方市」が誕生するに伴い7月26日、町文化会館において閉町記念式典が行われ、歴代の特別職・議会議員・各種団体の代表をはじめ約四百人が出席しました。

式典は、町長式辞、町議会議員・堀雲峰氏のあいさつの後、功労者二百名を表彰し、受賞者を代表して元助役の男庭恒和氏より謝辞がありました。

次に山崎農業委員会会長と亀田区長会長が町旗を降納し、有馬消防団長・堀副団長・高野副団長の万歳三唱で式典を閉じました。

式典前後には記念イベントとして、童太鼓による和太鼓・水郷相撲甚句、のぞみ幼稚園による鼓笛隊の演奏などが披露され、花を添えました。

相撲甚句 (作詞 川又ひろし) (構成 水郷相撲甚句会)

さよなら北浦まち
さよなら北浦 愛するまちヨ
縄文時代の昔より 自然の幸に恵まれて
山紫水明(さんしすいめい) 理想郷
湖(うみ)は豊富な魚介類 公魚、白魚、鰻、鮒
今は懐かし帆引船
農産物ならチンゲンサイ 全国一の出荷量
北浦みづはブランド品
生まれ育った北浦の 伝統行事を絶やさずに
伝えることの大切さ 子々孫々の宝物
七月、山田は祇園祭(ぎおんさい)
暴れ神輿(みこし)が揺れて行く
八月、紫雲観音(むくろ)緑日 稲荷神社は巫女が舞う
まちの偉人も数多く
俳句で知られた(洞海舎)涼谷(りようこく)や
江戸の相撲は(康島灘)鰐右衛門(わにえもん)
出久根達郎は直本賞
江戸の議會を動かした 河野正義や五十野謙
石橋茂に(高柳)淳之介 国務大臣(大久保)留次郎
あれは昭和の三十年 四月一日の合併で
北浦村が誕生し 平成九年の十月に
村から町に移行する
伊藤町長、原議長 まちを舵とる先生や
町民代表集まって 別れを惜しむ町民式
九月二日の大合併 北浦、麻生、玉造
三つの町がまとまって 明日(あした)の夢の行方市
栄あれよとヨ一ホホイ
祈りますよヨ一

■麻生区域の庁舎等



行方市役所麻生庁舎

〒311-3892 行方市麻生1561-9
TEL 0299-72-0811
FAX 0299-72-2174

●麻生庁舎第1庁舎

2階	市長室、総務課、秘書広聴課、職員課、企画課
1階	財政課、税務課、会計課、市民室、福祉室

●麻生庁舎第2庁舎

2階	会議室
1階	情報システム課、建設室、環境室、農林水産室

●出先機関等

麻生保健センター、環境美化センター、麻生衛生センター、国民宿舎白帆荘（白帆の湯）、麻生学校給食センター、麻生公民館、麻生運動広場

■北浦区域の庁舎等



行方市役所北浦庁舎

〒311-1792 行方市山田2564-10
TEL 0291-35-2111
FAX 0291-35-1785

●北浦庁舎

2階	商工観光課、学校教育課、スポーツ振興課
1階	農林水産課、環境課、農業委員会事務局、総務室、税務室、福祉室、市民室、建設室

●北浦公民館

1階	北浦公民館、生涯学習課
----	-------------

●出先機関等

北浦保健センター、北浦荘、北浦衛生センター、北浦学校給食センター、北浦体育館

■玉造区域の庁舎等



行方市役所玉造庁舎

〒311-3512 行方市玉造甲404
TEL 0299-55-0111
FAX 0299-55-0110

●玉造庁舎

3階	議会事務局
2階	都市計画課、建設課、下水道課、農林水産室、環境室
1階	社会福祉課、介護福祉課、市民課、総務室、税務室

●玉造保健センター

1階	健康増進課
----	-------

●泉配水場

1階	水道課
----	-----

●出先機関等

玉造有機肥料供給センター、玉造学校給食センター、玉造公民館、図書館、玉造総合運動場



↑官報に告示されました

平成17年9月2日から、行方郡3町（麻生町・北浦町・玉造町）が合併し、新市「行方市」が誕生します。
本年は、昭和30年にそれぞれの町が合併をし、誕生してから50年となる節目の年でもあり、新しいまちづくりを進めていく記念すべき年となります。

9月2日「行方市」が誕生します

3つの庁舎へは、市内通話料金で電話をかけられます。

旧町区域の庁舎へ電話してください。内線機能で、他の庁舎へ転送します。

例)①北浦地区の住民

②北浦庁舎へ電話（市内料金）

福祉事務所へ
電話相談したい

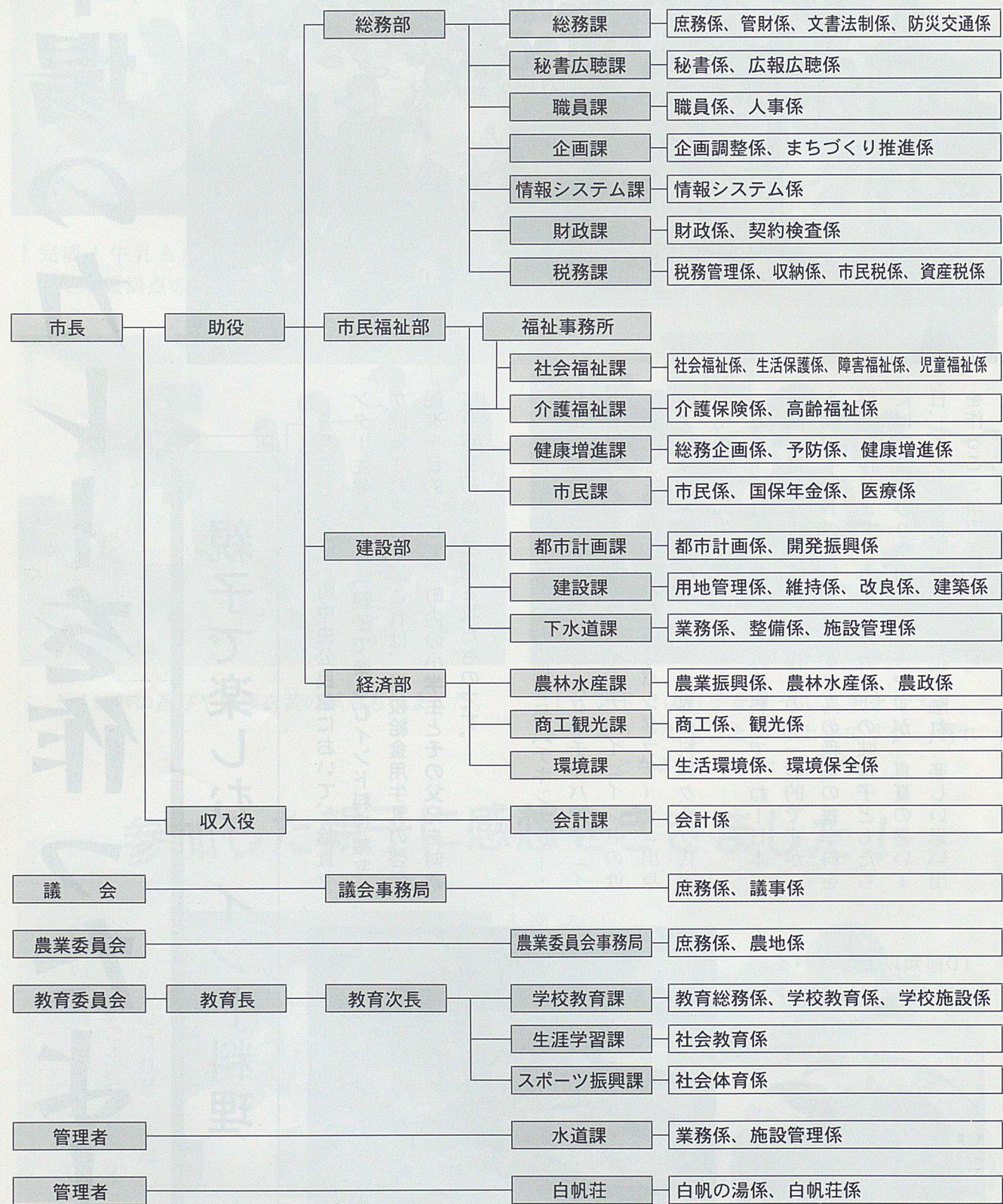
北浦庁舎の電話
交換手が転送

③玉造庁舎福祉事務所で電話対応

直接、玉造庁舎へ電話することもできます。
北浦庁舎へ電話し玉造庁舎へ転送することで、市内料金での通話となります。

「行方市役所」は、合併日から、麻生庁舎、北浦庁舎、玉造庁舎へそれぞれ、部課を分けて配置します。市民に対する窓口サービスは、従前どおり3庁舎で行います。一部本課で対応する事務もありますのでご注意ください。それぞれの部課の紹介と連絡の方法などをお知らせします。不明な点がありましたら、来庁前に電話等でご確認ください。

行方市行政機構図(全体図)



出先機関

- ・北浦荘（社会福祉課）
- ・有機肥料供給センター（農林水産課）
- ・環境美化センター、衛生センター（環境課）
- ・学校給食センター（学校教育課）
- ・公民館、図書館（生涯学習課）
- ・体育施設（スポーツ振興課）

○「行方市」の住所表示

北浦町の住所表示は、9月2日の合併の日から次のようになります。

- ・「行方郡麻生町」、「同北浦町」、「同玉造町」は、「行方市」に変わります。
- ・現在大字のついた住所は、「大字」を削除した表示になります。

なお、市外局番を含めた電話番号、郵便番号は変わりません。

現在の住所表示	行方市の住所表示	よみがな	郵便番号
北浦町 吉川 〇〇番地	行方市 吉川 〇〇番地	なめがたし よしかわ	311-1711
北浦町 繁昌 〇〇番地	行方市 繁昌 〇〇番地	なめがたし はんじょう	311-1712
北浦町 中根 〇〇番地	行方市 中根 〇〇番地	なめがたし なかね	311-1713
北浦町 山田 〇〇番地	行方市 山田 〇〇番地	なめがたし やまだ	311-1704
北浦町 行戸 〇〇番地	行方市 行戸 〇〇番地	なめがたし ゆくど	311-1723
北浦町 小幡 〇〇番地	行方市 小幡 〇〇番地	なめがたし おばた	311-1715
北浦町 南高岡 〇〇番地	行方市 南高岡 〇〇番地	なめがたし みなみたかおか	311-1714
北浦町 北高岡 〇〇番地	行方市 北高岡 〇〇番地	なめがたし きたたかおか	311-1716
北浦町 両宿 〇〇番地	行方市 両宿 〇〇番地	なめがたし りょうしょく	311-1721
北浦町 内宿 〇〇番地	行方市 内宿 〇〇番地	なめがたし うちじゅく	311-1705
北浦町 成田 〇〇番地	行方市 成田 〇〇番地	なめがたし なりた	311-1703
北浦町 三和 〇〇番地	行方市 三和 〇〇番地	なめがたし みわ	311-1702
北浦町 長野江 〇〇番地	行方市 長野江 〇〇番地	なめがたし ながのえ	311-1701
北浦町 次木 〇〇番地	行方市 次木 〇〇番地	なめがたし なみき	311-1722
北浦町 小貫 〇〇番地	行方市 小貫 〇〇番地	なめがたし おぬき	311-1724

本場のカレーを作ったよ！

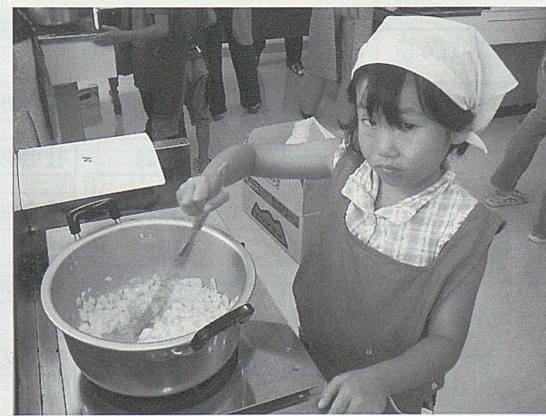
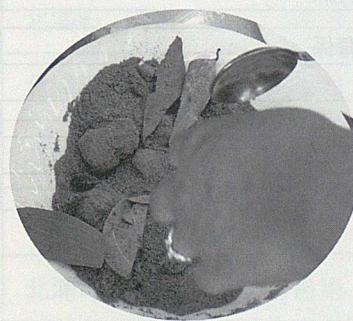
親子で楽しむ インド料理

8月5日（金）、町中央公民館において、給食センター主催による「親子で楽しむインド料理教室」が開催されました。これは、学校給食用牛乳の啓発促進を目的として、町内の小学生とその父兄を対象に今年度初めて実施されたものです。

この日、本格的なインド料理5品「チキンカレー・やさしいカレー・ライスブディング・チャパティ（インドのパン）・なすのフライ・チャイ（インドの飲み物）」を教えてくれたのはバングラデシュ出身のナスリン・ジョハン先生と世界の料理クラブ代表の庄司京子先生です。

カレーは日本でもおなじみの料理ですね！日本の家庭では「ルー」を使って作るのが一般的ですが、本場のインドのカレーはたくさんの種類の香辛料を混ぜて作ります。本格的なカレーの味は子どもたちにはちよっぴり辛かったようですが、真夏の暑い1日、インドの食・遊び・文化に触れ、楽しい思い出を作ることができたようです。

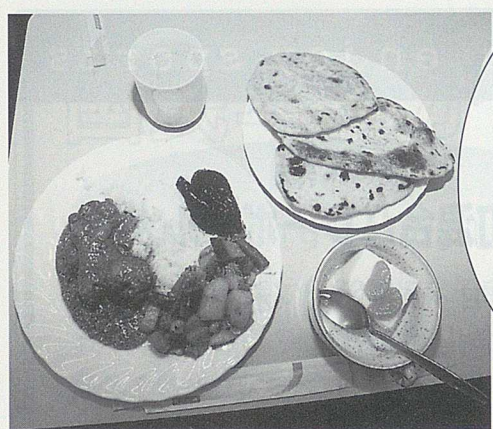
10種類以上のスパイスを混ぜあわせます↓



↑玉ねぎをよく炒めることがおいしいカレーの秘訣♪



チャパティはインドのパンです。小麦粉に塩・サラダ油・熱湯を入れて、こねたものを焼きます。



↑完成！牛乳もたっぷり使われていて栄養満点のメニューです



↑インドの遊びや民族衣装の試着もしました。



↑インドでは右手を使って食事をします。ナスリン先生はとても上手ですが、慣れないとなかなか難しいようです。

参加した親子に感想をききました！



石間 清美さん（繁昌）
美樹さん
美穂さん

辛かったけれど、本場のカレーが食べられてすごく良い経験ができました。こういう機会があれば是非又参加したいです。



小林 佐紀子さん（繁昌）
美 輝さん

カレーはチキンがやわらかくておいしかったです。民族衣装のサリーはぐるぐるまいたわりにはとても涼しい！楽しい1日を過ごすことが出来ました。

国民年金からのお知らせ

シリーズ3

【保険料は忘れずに納めましょう！】

保険料は20歳から60歳になるまでの40年間納めることになっています。老齢基礎年金を受けるためには、この間最低25年以上（保険料免除期間やカラ期間を含む）の保険料を納めることが必要です。保険料は、平成17年度は月額13,580円です。

保険料の納め方

〈第1号被保険者の方〉

社会保険庁から送付される納付書で各金融機関・郵便局・コンビニエンスストア（一部取扱いを行っていないところがあります）・農協・社会保険事務所などで納めてください。

なお、保険料は口座振替にすると便利でお得です。

お申し込みは、金融機関の窓口にて用意してありますので①保険料納付書②預金通帳③預金通帳の届出の印鑑をお持ちになってお申し込みください。

さらに、通常は「当月保険料を翌月末引落し」ですが、早割制度「当月保険料を当月引落し」を利用すれば、月額40円割引されます。

〈第2号被保険者・第3号被保険者の方〉

厚生年金や共済年金の掛金の中から、拠出金としてまとめて支払われます。又、第3号被保険者の保険料は、配偶者の加入する厚生年金や共済組合が制度全体で負担するしくみなので、配偶者の給料から天引きされることはありません。

第1号被保険者（農業や自営業の人など）には 3つの独自給付があります

○付加年金

定額の保険料に月額400円の保険料を上乗せして納めた人が、納めた月数×200円の金額を老齢基礎年金に加算されて受け取ることができます。（付加年金は2年間受給すれば、保険料額と同額になり、3年目からはもらい得となります。）

○寡婦年金

第1号被保険者として保険料を納めた期間（免除期間を含む）が25年以上ある夫（婚姻期間10年以上）が亡くなったとき、その妻に60歳から65歳になるまでに支給されます。（支給額は夫が受け取るはずの年金額の4分の3の額です）

○死亡一時金

第1号被保険者として保険料を3年以上納めた人が、年金を受けずに亡くなり、その遺族が遺族基礎年金を受けられない場合に支給されます。



enjoy sports enjoy sports enjoy sports

平成17年度ペタンク大会

- ◆ 期 日 7月21日（木）
- ◆ 場 所 町第1グラウンド
- ◆ 結 果
 - 優 勝 松寿会B
 - 準優勝 白寿会
 - 第3位 西白寿会B
 - 第4位 東寿会B

参加した33チームが8ブロックに分かれリーグ戦を行い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントを戦いました。

第38回 北浦町混合バレーボール大会

- ◆ 期 日 7月24日（水）
- ◆ 場 所 町体育館
- ◆ 結 果
 - 優 勝 ひかりクラブ
 - 準優勝 フレンズ
 - 第3位 暖心俱
 - " 内宿クラブ

参加した7チームが2ブロックに分かれリーグ戦を行い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントを戦いました。

子ども会球技大会

- ◆ 期 日 8月7日（日）
- ◆ 場 所 町第1・第2グラウンド
- ◆ 結 果
 - 優 勝 ひまわり日の丸A
 - 準優勝 小貫若葉
 - 3 位 吉川
 - 3 位 日の出

今大会で優勝したひまわり日の丸A、準優勝した小貫若葉の両チームは、町の代表として、8月21日に行われる行方地区大会へ出場します。



↑優勝したひまわり日の丸Aチーム



↑準優勝した小貫若葉チーム



あなたの調査票が 国の施策やまちづくりのデータに

2005 国勢調査

平成17年10月1日(土)

総務省統計局

「もう少し病院が近くにあれば」「もう少し交通の便が良ければ」「もう少し公園が多ければ」…。
私たちの暮らしの中で、「もう少し」があればいいなと思うことってありますね。
そんな、あなたの「もう少し」のために。
国勢調査は、人口・世帯などを知るための最も基本的な統計調査。
国の施策やまちづくりのための大切なデータになります。

茨城県身体拘束ゼロ相談窓口を設置しました

茨城県では介護保険施設等の利用者やご家族、及び施設職員に対し、身体拘束に関する相談や身体拘束を廃止するためのケアの工夫について具体的な助言や指導を行っています。

平成17年度茨城県身体拘束ゼロ相談窓口：2ヶ所

①茨城県老人福祉施設協議会

電話相談 029-241-8529

(毎週水曜・午前9時から午後4時)

fax 相談 029-241-4456

(随時受付。電話またはfaxで回答)

②茨城県作業療法士会

(介護老人保健施設「涼風苑」内)

電話相談 0297-63-0008

(毎週月曜・午前9時から12時)

fax 相談 0297-63-0018

(随時受付、電話またはfaxで回答)

正しい軽油を使いましょう

皆さんが軽油を購入したとき支払う代金には、軽油引取税が含まれており、県内の道路や橋などを整備するために使われています。

ナンバープレートのついたディーゼル車に軽油以外の油や混和した軽油を使った場合は脱税したことになりますので、軽油引取税を追徴されます。

また、不良燃料は不完全燃焼をおこし、機械をいためるだけでなく、排気ガスによって地域の皆様に迷惑をかけることになります。

住みよい郷土をつくるためにも、正しい軽油を使いましょう。

なお、くわしいことについては県税事務所にお尋ねください。

その他不正軽油に関する情報についても、県税事務所までお寄せください。

■お問合せ先

茨城県麻生県税事務所

☎ 0299-72-0483

就職活動を専門のスタッフが お手伝いします

いばらき就職支援センター

鹿行地区センター

平成17年9月1日から神栖出張相談を毎週木曜日に行います。

■相談日

毎週木曜日(祝日及び12月28日、1月5日は行いません。)

■相談時間

午前10:00～午後3:00

■相談場所

鹿島郡神栖町大野原4-7-11

鹿島セントラルホテル新館1階

鹿島インフォメーションサロン内

■相談内容

・就職相談

就職に関するアドバイス、制度、各種講習会の案内

・内職相談

発注受付、紹介、あっせん

・適職相談

求職者の興味・関心・志向・価値観等の把握と診断

・キャリアカウンセリング

就職に関する悩み等の相談、就職活動計画のアドバイス

・職業能力開発支援

職業訓練等の各種講座の案内や手続き支援、訓練メニューの紹介

・職業紹介

高卒未就職者や企業誘致に伴う人材紹介等

■お問合せ先

茨城県鹿行地方総合事務所

商工労政課内 茨城就職支援センター

鹿行地区センター

☎ 0291-34-2061

fax 0291-34-2062

動物愛護月間

9月1日から9月30日までは動物愛護月間です。

この月間は広く県民の間に動物の愛護と動物の正しい飼い方についての関心と理解を深めていくことを目的としています。

○動物を飼うときは、習性を良く理解し、終生責任を持って飼いましょう。

○人と動物との調和のとれた豊かな環境作りに心がけましょう。

○動物をいたわり、小さな命を大切にしましょう。

大好きいばらき

動物愛護フェスティバル2005

■日時

平成17年9月17日(土)

午前10時から午後2時まで

■会場

茨城県動物指導センター

茨城県笠間市日沢47

☎ 0296-72-1200

■内容

1. 動物の正しい飼い方展
2. 子犬の譲渡(事前予約制)
3. 動物なんでも相談
4. 動物ふれあいコーナー 他

動物愛護絵画・ポスター及び標語コンクール優秀作品展示会

■日時

平成16年9月1日(木)～9月30日(金) 午前10時～午後4時

[土曜、日曜、祝祭日は除く、9月30日(金)は午後2時まで]

■会場

茨城県動物指導センター

笠間市日沢47

☎ 0296-72-1200

「家族でいっしょにいただきます」メッセージ募集

親から子へ、子から親へ、妻から夫へ、彼氏から彼女へなど、家族や仲間と一緒に食べる楽しさを言葉につづってみませんか。

■メッセージのテーマ

・「家族との食卓」を主なテーマとしますが、広く食事や健康に関するものなら何でも結構ですが、未発表の作品に限ります。

・字数は50字程度とします。

・小さいお子さんの場合は、保護者等による代筆も可です。

■応募資格

茨城県在住又は通勤・通学している子どもから大人まで

■応募しめきり

平成17年10月31日(月) 必着

■応募方法

①応募用紙に次の事項をご記入いただき、郵便、fax、E-mailで次の宛先までお送り下さい。

②応募用紙のコピーや別の用紙の使用による応募もできます。

③1人何点でも結構です。

[記入事項]

住所・氏名・電話番号・年齢(学生の場合は学校名、学年)、職業メッセージ(送る方、送りたい方、メッセージ内容)

■問合せ先・応募先

〒310-8555

茨城県水戸市笠原町978-6

子ども家庭課「家族でいっしょにいただきます」メッセージ係行

☎ 029-301-3252

fax 029-301-3269

e-mail jifuku2@pref.ibaraki.lg.jp

※結果については12月下旬に入賞者にご連絡いたします。また平成18年1月以降の茨城県ホームページに掲載します。

「いばらき営農塾」受講生募集のお知らせ

■対象者

茨城県内に就農している方、就農を予定している方で概ね65歳までの方

■期間及び場所

①栽培基礎研修Aコース

期間 10月5日(水)～12月17日(土)

場所 農業大学校(茨城町)

*原則、水曜日の夜間と土曜日の日中に開講。

②栽培基礎研修Bコース

期間 平成18年1月6日(金)～3月14日(火)

場所 農業大学校園芸部(坂東市)

*原則、火曜日と金曜日の夜間に開講。

■内容

農業基礎知識の講義と農作業の実習
土壌肥料、病害虫防除、野菜園芸など講義20回、実習10回

注)栽培基礎研修Bコースは実習は行いません。

■定員 各15名

■受講料

無料(ただし、テキスト代等は受講者負担)

■受講申込方法

最寄りの農業改良普及センターを経由して、茨城県立農業大学校に申し込んで下さい。申込者が多数の場合は選考の上、決定させていただきます。

■申込み締め切り

①栽培基礎研修Aコース

9月13日(火) 必着

②栽培基礎研修Bコース

12月9日(金) 必着

■問合せ

茨城県立農業大学校

☎ 029(292)0010

fax 029(292)0903

HP <http://www.ibanodai.ac.jp>

広報きたうらの歴史



昭和30年8月に第1号を発行した「広報きたうら」。
多くの方々に支えられながら460号を積み重ねてきました。
最終号となった今回、その長い歴史を振り返ってみました。

第50号 昭和37年7月16日

●要小学校危険校舎改築工事

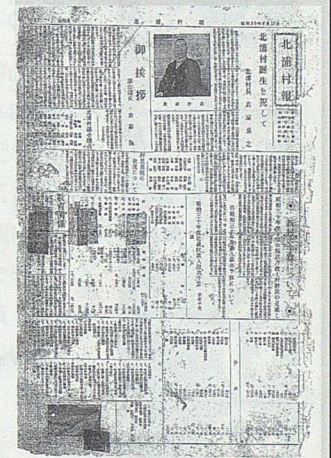
麻生高校北浦分校として、利用している建物の余剰部分を解体の上、使用可能な木材スレート瓦等を使用して、現在の校舎建築規格に合った校舎を建てる予算が議決され、改築費として、地方交付税繰越金等を財源に総額515万円が追加決定されました。



創刊号 昭和30年8月17日

●新村の予算について

昭和30年4月1日、津澄・要・武田村が合併して北浦村が誕生しました。村の予算額は、3,898万6,000円で、旧村の実質赤字額250万円を抱えてのスタート。財政的にはやや苦しかったようです。
紙面は、A3より少し小さいサイズの両面印刷でした。



第150号 昭和48年1月25日

●整然と出初式

恒例の消防団出初式が、盛大に開催されました。式終了後、小幡山田川において放水試験が行われました。

●村内一周駅伝大会

村内8チーム、招待2チームが参加し、村内一周7区間21.8キロのコースで行われ、北浦中Aチームが優勝しました。



第100号 昭和42年4月1日

●予算について

一般会計予算総額は、農業振興重点に1億5,116万5,000円でした。主な事業としては、農免道路の建設、病害虫の空中防除、中学校特別教室の増築、老人福祉センターの建設などが新しく取り上げられました。特別会計は、総額5,913万5,000円でした。



第200号 昭和53年7月25日

●山田地区簡易水道

配水管の埋設、浄水場建設の工事に入り、12月1日に一部給水を開始し、翌年の4月1日には、全区域に通水されました。

●新庁舎工事について

新庁舎の工事は、暑期中順調に進んでおり、全体の75%の工事が終了しました。

内部は、機械類の設置、天井工事、左官工事が進められました。



ハイっかえて！



129人の選手がせいぞろい

少年部選手に男子も参加
8月10日、山田地区簡易水道の工事現場で、新庁舎の建設が進められています。その間、山田地区の住民は、簡易水道を利用しています。この水道は、山田地区の住民にとって、非常に重要な施設です。この水道は、山田地区の住民にとって、非常に重要な施設です。この水道は、山田地区の住民にとって、非常に重要な施設です。

第300号 平成3年8月号

●真夏の成人式

8月15日の終戦記念日に、真夏の成人式が行われました。新成人者152名が新たな出発をしました。

●第1回北浦盆踊り大会

8月17日、津澄小学校の校庭において盆踊り大会が行われました。県外からも沢山の方が参加し、1,000人を超える人で賑わいました。



広報 きたうら

第250号 昭和60年11月号

ゴミのあつまり
きちんとしまおう
北浦村議会が発足
消防ポンプ操法大会
4H祭
ふるさとと歴史



第250号 昭和60年11月号

●北浦村銀齢会が発足

知識や技能の指導者としての活動や高齢者の生きがいを求めることを目的に、9月30日に発足。初代会長として額賀忠衛さん（三和）が選任されました。

●4H祭

第14回4H祭が開催されました。恒例の野菜即売会や趣向を凝らした模擬店も並び、多くの人で賑わいました。

第350号 平成8年6月21日

●北浦複合団地建設事業

平成5年から「北浦複合団地」計画が本格的にスタート。平成6年度に事業主体を茨城県、施行を茨城県開発公社、用地買収を北浦村が担当する協定を結びました。買収計画期間は平成6年度から3年間の予定で、本年5月末現在の買収状況は、全面積(約204ha)の60%です。



第450号 平成16年10月21日

●「湖の魚」安全をPR

北浦・霞ヶ浦の安全で美味しい魚と環境保全をアピールするために、北浦湖畔において魚祭りが開催されました。

●2分の1成人式

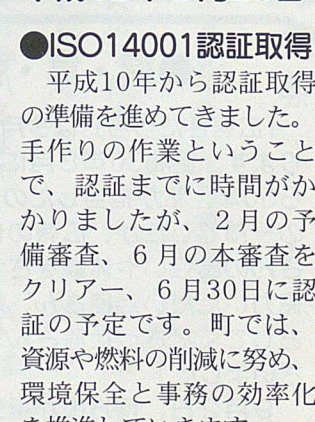
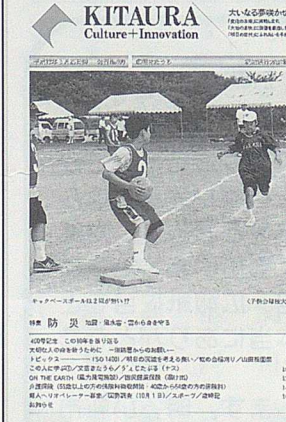
町内の小学4年生（10歳）を対象に、ホームステイを体験。夢を持ったたくましい子どもの育成を目的に3年前から実施しています。



第400号 平成12年8月25日

●ISO14001認証取得

平成10年から認証取得の準備を進めてきました。手作りの作業ということで、認証までに時間がかかりましたが、2月の予備審査、6月の本審査をクリアー、6月30日に認証の予定です。町では、資源や燃料の削減に努め、環境保全と事務の効率化を推進していきます。





昨年、吟行会では塩原方面に出かけました

毎月、広報に作品を提供してくれている北浦俳句会。今回はその活動内容について会長の久保博光さんと事務局長の高野顯さんにお話を伺いました。

約30数名の方が所属している北浦俳句会。町の公民館で課題を決めて俳句を詠む定例会を月2回実施しています。そのほかにも6月ころに県外に出かける吟行会は毎年恒例となっており、会員同士の交流にも一役かっているそうです。

学生時代にも俳句を詠んでいたという久保さんと高野さん。「今の子ども達にも食わず嫌いをしないで、俳句にチャレンジしてほしい。私たちも小学生や中学生と一緒に俳句を詠む機会があれば参加していきたいですね。またそういった取り組みも今後考えていきたいです。」と笑顔で話してくださいました。

みんなの 広場

北浦俳句会

きたうら文芸

俳句

北浦俳句会（久保博光選）

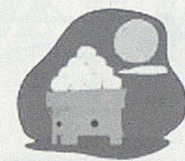
退職の父が裸足の有機農
生涯を土と親しみ裸足かな
禅寺に僧の素足の昏れるまで
川遊び蛙にはだしにさせられて
足音もなく裸足の土やさし
帰省子のやたらはだしとなる日暮
まなうらに残る跣足の母姿
原意に戻るはだしの潮の香
五里霧中裸足で駆ける夏の浜
機嫌よき顔に変わって裸足の子
体験の裸足戸惑う子ら歓喜
声高に浜辺たくまし裸足の子
浜風にはだして園児駆けてくる
校庭を裸足で走る子沢山
梅雨晴れ間森は野鳥のにぎわいて
裸足の子夢がゆきかう水たまり

久保博光	飯島秀子	坂本トク	桂木治代	金井クニエ	松本玉江	石上ちか子	羽生まき	日下利子	額賀英子	高野都代	本戸さく子	関川ひで	高野三千春	野村すゑ	井川幸子
------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------

九月二日から行方市に変わりましたが、俳句会は、今まで同様継続しますので是非この機会に気軽にご入会下さい。お待ちしております。

新着図書(7/1~7/30)

残暑は厳しいけれど、
季節はもう秋！！



■一般図書 20冊

*親と子の大学受験ガイド(丹羽健夫) *離婚判例ガイド(二宮周平) *3歳からのお手伝い(寺西恵里子) *NANA恋愛勝利学(香山リカ) ほか

■児童図書 5冊

*つのはさみ(須田孫七) *ぼくはざりがに(武田正倫) ほか

■絵本 2冊

*姨捨山(西本鶏介) *モリゾーとキッコロ(高橋良輔)

■AV 5巻

*せなけいこ おばけビデオ ねないこだれだ *ダンボ(ウォルト・ディズニークラシックス)

話題の新作



特殊な災害にそなえる
ハイパーレスキュー隊
の活動現場、ハイパー
レスキュー隊員になる
方法、活動服や使用す
る車などをカラー写真
でくわしく紹介する。

かっこいいぞハイパーレスキュー
伊藤 久巳/イカロス出版

●編・集・後・記●

「広報きたうら」は今月号をもって最終号となります。昭和30年8月に創刊号が発行されてから50年。私が担当したのはその長い歴史のほんの一部でしたが、広報の仕事をおして、たくさんのお会いや体験をさせていただきました。ご協力いただいた皆さん、毎月、広報紙に目をとっておくださった皆さん、本当にありがとうございました！

9月2日、行方市が誕生します。明るい新市の未来のために私も頑張りたいと思います。(N)

はつらつ保健だより

～身近な食中毒～

ペットボトルの飲み物はフタも閉められて持ち運び可能なので、スポーツやレジャーで利用する機会が多いと思います。そんな、便利なペットボトル清涼飲料水の落とし穴。それは、食中毒です。

ペットボトルは口を付けて飲んだ場合、口の中の細菌が飲み物の中に入り込みこみます。そして、暖かい場所や車の中などに置いておくと、飲み物の栄養を利用してペットボトルの中で雑菌が繁殖します。それを飲むことによって、腹痛などをおこす場合があります。

できれば、口を付けて飲む場合はコップに移して飲むか、早めに飲みきりましょう。また、冷蔵庫に入れても一時的に細菌の繁殖を抑えるだけで、暖かい場所に置くと菌の繁殖がはじまるので注意してください。

※ビンや缶の飲み物も同じです

注 意

- ①口を付けた物は早めに飲みきる
 - ②口を付けてから暖かいところにしばらく置いたものは飲まない
 - ③口を付けたら冷蔵庫に入れておいても早めに飲みきる
 - ④口を付けたあとペットボトルが膨張していたら飲まない
- 以上に注意してください!!



■問合せ先

町健康推進課(町保健福祉センター内)

☎ 34-6200

こんな行方市になってほしい!

北浦町は9月2日から行方市として新たなスタート。
みなさんの望む行方市の未来は一体どんなものなのでしょう?
6名の方にインタビューしてみました!



いしかわ しょうた
石川 翔大さん

買い物出来る場所や駅があったら便利になると思います。でも自然が多いことが一番の自慢なので自然と便利さが調和した市になってほしいです。



の はら あや か
野原 綾華さん

また、あまり実感がわかないけれど、私たちが行方市立北浦中学校の第一期卒業生になると聞いて不思議な感じです。ずっと暮らし続けたいと思える市を作って欲しいです。



ねもと きよ み
根本 清美さん

病院やスーパーの充実など安心して子育てができる市になってほしいです。離乳食教室に参加しているのですが、ひきつづきおこなってほしいです。



よし だ けんいち
吉田 賢一さん

行方市になっても、北浦の良い部分を活かしてほしい。よいところがたくさんあると思うので、いい意味で変わって欲しくない。



かた み はる お
方波見 晴男さん

お金を使わなくても、工夫次第でいろいろなことができるはずだと思います。行政と住民のコミュニケーションを密にし、昔ながらのいいところを活かした市になってほしいです。



せきかわ ひで さん
関川 ひでさん

組織が大きくなっても、話し合いを充分に行い、だれもが満足でき、住みたいと思えるような市を作って欲しいと思います。横のつながりを大事にしてほしいです。